GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2008.9/1
Vol. 3

ガバナー月信

2008～2009年度 国際ロータリー第2650地区テーマ「次の世代にときめきを」

Make Dreams Real

目次●CONTENTS

ガバナーメッセージ ……2
9月の月間テーマ「新世代」……3-5
7月会員数の増減および出席率表……6
地区公示 ……7
7月の会員の動き ……7
幹事報告 ……8
HPのご案内 ……8
文庫通信 ……8

残暑お見舞い申し上げます

早いものでガバナー就任後早や２ヶ月が過ぎ、その間 33 クラブの公式訪問を終えることが出来ました。訪問先クラブの皆様には大変お世話になりました。また有意義な時間を過ごせましたことを心から深く感謝申し上げます。

さて、いくつかの訪問先のクラブでも課題に上っておりました「一億ドルチャレンジプログラム」事業の件につき、さる８月 23 日に行われました諮問会議において、ご指導を仰ぎましたところ、一定の方向付けを見ることが出来ましたので地区として改めて次のとおり各クラブ会員の皆様にお示し申上げます。

＜「1 億ドルチャレンジプログラム」事業へのご協力のお願い＞

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から1億ドルの補助金のチャレンジの申出を受けたロータリー財団は、今後3年間にこれと同額の資金を調達するための募金活動を行っていくことになりました。正式には2008年1月1日から始まっています。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の共同会長であるビルゲイツ氏は「ポリオ撲滅があと一歩というところまで前進できた背景には、ロータリー会員の並々ならぬ尽力があり、これがきわめて重要な役割を果たされました」とロータリーの活動を賞讃され、今回の補助金の申出になったといわれています。

一方、ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅を最優先活動として定め、これまでにこの活動に6億3300万ドルを寄付してきました。その成果もあり、ポリオの発症件数は99％以上減少したといわれています。

さて、今回「1億ドルのチャレンジプログラム」によって、1クラブ1000ドルの寄付の呼びかけがありました。私共2650地区は96クラブあるところから1000ドルを掛けますと地区全体で年96000ドルとなりますが、クラブ毎の会員数には差があることから全会員数で除しますと1名当たり約2000円になります。

ところで、1999～2000年度に京都国際会館において西太平洋地域に於けるポリオ撲滅の終結宣言がされたところです。またご高承のとおり2004～2005年、2005～2006年にポリオ終結のためにと標し、当地区も多額（計25万ドル）の寄付に応じたところです。また一方ではＷＣＳに特別資金として、1995～1996年度から年2000円の協力金も現在継続しているところです。以上のように私共2650地区では様々な形でポリオに対して多大な協力をしてまいりましたが、残念ながら未だポリオに終止符を打つ状況に至っていないのが現状です。従いまして、少しでも早期に終止符を打つための資金として、今回はクラブ割また人頭割といった寄付依頼とせず、ロータリアン一人ひとりの熱い思いにご期待申し上げることに致したく存じます。

皆様におかれましては、以上のことをご賢察の上ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

川端　五兵衛

9月の月間テーマ 「新世代のための月間」

新世代委員会
委員長　吉川　裕丈
(京都洛西RC)

年令30歳までの人々の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てるために、9月は「新世代のための月間」に指定されています。地区とクラブは、健康・人間の価値・教育・自己開発を支援する新世代のためのロータリープログラムに関わることが要請されています。また「各ロータリアンは青少年の模範」という標語をクラブの会報や広報の資料等に使用するようにも奨励されています。

国際ロータリーでは、世界理解と平和を推進するというロータリーの目標を助長するために、青少年の育成・職業研修・国際社会及び地域社会の発展を目的とした幅広いプログラムをロータリアンに提供しています。国際ロータリーの事務局は友情と善意を育て、地域社会や国際社会において奉仕の目標を達成する枠組として、クラブならびに地区に対し、RIの構成プログラムに関する資料や援助源を多く提供しています。以下のプログラムが現在承認されています。

＊インターアクト（IAC）
＊ローターアクト（RAC）
＊ロータリー地域社会共同体（RCC）
＊ロータリー親睦活動
＊ロータリー友情交換
＊ロータリー・ボランティア
＊ロータリー青少年交換
＊ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）
＊世界社会奉仕（WCS）

なかでも以下の4つのプログラムは、RIが認めた「新世代のためのプログラム」です。

①インターアクト　（米国・RI承認1962年）

インターアクトは、ロータリークラブが提唱する14歳から18歳までの青少年のための奉仕団体です。プログラムは、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加し、指導力を身につけ、他人を尊重し、他人の役に立つことを実践し新しい友人と出会う機会を青少年に与えるものです。世界約120カ国に約1万名のインターアクトクラブが存在し、世界中の若い人々が地元の地域社会の改善や国際理解の増進を行っています。

②ローターアクト　（米国・RI承認1968年）

ローターアクトは、18歳から30歳の若い専門職務従事者や学生のための奉仕クラブで、地元のロータリークラブによって提唱されるロータアクトクラブは、奉仕における真のパートナーとして、またロータリー家族の重要な一員として地元地域や国際的な社会奉仕活動をはじめ、専門技術および指導能力の開発を目的とした活動を行っています。約160カ国に7800ほどのクラブが存在します。新しい活力をもたらし奉仕の斬新なアイデアを提起しまた将来のロータリアンを育成する一助となりつつあります。

③RYLA／ロータリー青少年指導者養成プログラム
（オーストラリア・RI承認1971年）

RYLAは、14歳から30歳までの青年を対象とした集中的な指導力研修プログラムです。RYLAプログラムは、セミナー・キャンプあるいはワークショップの方式に基づきクラブまたは地区レベルでロータリアンによって実施されています。通常3日から10日間の開催期間で、次世代を担う資質ある指導者を育てる「きっかけ作り」のセミナーを展開しています。

④ロータリー青少年交換　（フランス・RI承認1974年）

青少年交換は、15歳から19歳までの青少年に母国以外の国を訪問したり、留学したりする機会を提供するプログラムで、長期交換プログラムは学生に1学年度海外に留学する機会を与えるものです。また短期交換プログラムは、最低数週間のホームステイやキャンプ、ツアーの機会を与えます。

国際ロータリー第2650地区では、前述の「新世代のためのプログラム」は既に地区及びクラブレベルで取り組まれていますが、これ以外にもロータリー友情交換（RI承認1988年）と世界社会奉仕／WCS（RI承認1967年）のプログラムが地区レベルで展開されています。

ロータリー友情交換プログラムは、国際理解、親善、平和を推進するためにロータリアンとその家族を相互に訪問し合い、ホームステイを行います。2種類の形態があって

＊クラブ対クラブの訪問プログラムは、個々のロータリアンが他国のロータリアンの家庭に数日間滞在するもので家族同伴も許されております。
＊地区対地区のチームプログラムは、数組のロータリアン夫妻が最高1ヶ月間ホスト地区内の地域社会を数カ所訪問します。この交換は、同じ職業に携わるロータリアンのみが参加する場合、単一職業の交換プログラムとして指定されます。参加地区が、交換の詳細調整をして、同意に至ると参加者全ての費用を自己負担します。

世界社会奉仕／WCSプログラムは、国際奉仕部門に積極的に関与し、他国のロータリアンとの間に友情を育む機会をロータリークラブと地区に提供するものである。世界社会奉仕を通じて人々の生活を改善し、ニーズに応えるプロジェクトを実施すること。また物質的・技術的・専門的援助を通じて国際理解と親善を推進する。

以上がロータリーのクラブ及び地区に一定期間実施するように推奨した優先奉仕事項の構成プログラム（RI理事会がクラブや地区のために推奨し、枠組みと指針を含む組織された活動）です。

本年度新世代委員会では下記の活動基本方針にしたがって活動を進めております。

近年、我が国では、急速な少子化の進行や就業形態の多様化、情報化社会の進展や変化により、青少年を取り巻く環境に大きな影響をもたらしております。またフリーターやニートと呼ばれる若者の数が増加するなど若者の社会的自立の遅れが一段と進んでいるようにも思われます。

さらに近年社会を震撼させる重大事件が発生するなど、子どもの安全や少年非行に対する不安が今まで以上に高まってきているようにも思われます。

新世代　特に青年期は言わば人格形成にとって非常に大切な時期、大人となるための準備期間であり、社会にとって大人と共に現在の社会を形成し次世代を担う貴重な存在であると言っても過言ではありません。

本年度新世代委員会では、新世代の多様なニーズを認識し、より良い未来を確かなものとするため、また新世代の人々に将来への準備をさせることに重点を置きます。

新世代のためのRI構成プログラムである「ロータリー青少年指導者養成プログラム・RYLA」を通して、素晴らしい出会いと感動を体感し、さらに次代を担うトップリーダーとしての資質を身につけていただきます。

特にこのセミナーを開催することにより地区に新たな活力をもたらし、奉仕へのアイデアを生み出し、社会奉仕プロジェクトへの支援を高め、将来のロータリアンを育む一助になることを確信し委員会一丸となって活動を進めて参ります。

「新世代育成を考えよう」

新世代育成基金特別委員会
委員長　増田善宏
（福井RC）

川端五兵衛ガバナーご提示の地区テーマ“次世代にときめきを”を念頭に置きながらこの一年活動をして参ります。

現今大事な事は、新世代、特に中学生以下の子供達を対象とする育成活動が特に重要でありこれを継続して行かねばなりません。

近年犯罪の若年化、不登校生徒の増加等、子供や青少年の健全育成に関する問題は、山積しております。その成長過程では知育、体育、徳育の三つのバランスが重要であると云われております。そこで私達の委員会では、幼児の教育、とりわけ徳育が大切であると考えております。その一つの例として、歴史上偉人についての読み聞かせや、その紙芝居等で、取り上げて頂きます様、奨めております。そしてその熱心な指導者を表彰する事を考えています。この幼児期に受けた影響は成長しても心に残り良い結果を生ずるものであると考えております。

以上の観点からこの基金は、国際ロータリーの創立100周年を記念して設立されたものであります。2005年から10年間継続するものとし、2003～'04年の国際大会の地区への返戻金1500万円を基として2005～'06年以降毎年全会員が一人当り1000円を拠出するものとする。

又新世代育成基金特別委員会を設けるが、これは基金活動や表彰審査を行う。構成はガバナー新世代担当諮問委員会、ガバナー補佐数名、ガバナー指名地区委員経験者数名とする。随時委員会を開催して表彰審査などを行う。年一回、新世代の子供達の育成についてシンポジュームを開催する。

奨励金適用の対象は2650地区内で新世代（15才以下）の子供達の育成に顕著な貢献をした団体や個人、そしてロータリアンが関係して組織化、活動に貢献したもの或いは実施計画しているもの ロータリーと直接関係はなくても顕著な成果を挙げているもの、それから原則として、公的機関や他の団体から支援を受けてなくて、営利目的の団体でないものとする。そして毎年1回地区大会に於いて発表を行い、広く社会に認知されるようにメディアを含めて公開されるものとする。（奨励金適用　団体{個人}中、特に優秀な者を表彰する。）

その表彰金、奨励金の額は、団体には1口当り10万円以上、個人には1口当り5万円以上とし、1年の総額は500万円を超えないものとする。

年一回のシンポジュームは新世代育成を題として秋又は1月頃に行っている。講演会方式をとる事が多いが、今年度は、テーマは“次の世代にときめきを”として講師は、国際ロータリー第2680地区パストガバナー安平和彦氏（弁護士）にお願いしてあります。詳細は、これから決定していかねばなりません。

一応各クラブからこのシンポジュームには3名以上の登録を一人1000円すなわち各クラブで3000円の登録料（昨年同様）をお願いしたいと思っております。

いずれにしても詳細決定次第、各クラブへお知らせ申し上げます。

今年度の表彰金奨励金に関しては毎年の様に10月の初旬に各クラブに詳細ご案内申し上げます。〆切は12月末日とし、審査をして2月中旬迄に決定したいと考えております。

どうか皆様方のご協力をお願い申し上げます。

発表は地区大会で、奨励金は各ガバナー補佐の方々にご協力を頂いておりますので今年もお願いしたいと考えております。

以上の様に現在では未定の部分がございますが皆様方のご協力を得てこの事業が成功する事を願っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

「若き奉仕者と共にアクティブな活動を」

インターアクト委員会
委員長　北島　恬
（福井RC）

当地区のインターアクトクラブについては現在17クラブが提唱し17校がRIに登録されてある。人員は現在約400名ほどである。08－09のテーマは2650地区テーマ「次の世代にときめきを」から[ドッキドキ＊インターアクト]と決め、これから体験すると思われる地域社会や学校における奉仕、さらには海外研修における国際奉仕と国際理解、さらに困窮による格差社会と学業の困難、また衛生環境における水・保健の問題などRIが掲げる強調事項についても現場にてリアルに実体験させたい。

各学校における活動は福祉・災害ボランティア・幼児教育体験・学校行事におけるクラブ活動としてのボランティア（吹奏楽や学校訪問者の案内など）多岐にわたる。

これらの活動を通して他人に対する思いやり・心構え・地域社会・国家・国際理解と人類に対する善意の高揚などを習得し、自己の完成を図ることを目的としている。

奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、相共に活動する機会を青少年男女に提供することが委員会としての目標である。

各クラブにおかれてはこの活動をさらに広められるよう是非共、新クラブの設立を周年事業などに計画し、青少年健全育成に取り組まれることを切望したい。

「私の気持ち」

ローターアクト委員会
委員長　斎藤　祥男
（京都洛北RC）

国際ロータリー第2650地区2008-2009年度、R. I. 地区ローターアクト委員長に任命されました斎藤祥男でございます。この度「ローターアクトのための月間」のため、ロータリアンの皆様へR.I. 地区ローターアクト委員会、そして委員長としての思い、また皆様へローターアクトクラブに対するご助力のお願いを伝えさせていただきます。

さて、私が地区のローターアクトに携わらせていただきましたのは7年も前のことになります。3年間、委員として勉強させていただき、そのあと4年間は副委員長として委員長のそばで勉強させていただきました。この7年間で、ローターアクトクラブについて多くの事を知ることができ、また様々な行事に出席し、若い世代のバイタリティを身近に感じ、感動をさせていただきました。

そして、その中でも大いに感動する行事はローターアクト地区大会で行われます卒業式です。18～30歳と年齢制限があるローターアクトクラブでは、毎年地区大会で卒業式を行います。卒業する会員がそれぞれの感想や想いをスピーチします。そこには色々な物語がありますが、共通して伝わる事は「多くのかけがえのない友人ができた」「自分自身のレベルアップにつながった」など、ローターアクト活動の目的でもある『次世代のリーダーシップ育成』につながる事だと認識しております。私自身、多くのローターアクターの入会から卒業まで見届けております。入会してから卒業するまでの間、一人ひとりのローターアクターを見ておりますと、ローターアクトクラブは本当に個々が成長できる素晴らしい活動をしていると毎年感心しております。

この度、8年目で委員長という大役を仰せつかり、私なりにこの素晴らしいローターアクト活動にどういった事が出来るのかを考えさせていただきました。一番大切な事は、ロータリークラブとローターアクトクラブの関係だと思っております。ローターアクターが成長できるのも提唱いただいているロータリークラブの皆様がご指導、ご協力していただいているからこそですし、多額の補助をいただいているからこそ有意義な活動ができるものと思っております。

そこで各提唱クラブは、今まで以上にロータリーとローターアクトの親子関係がより強いものになるよう、活動していただきたく思っております。今でも充分にローターアクトに接していただき、活動をされていると思います。だからこそ、今以上に接していただける事が益々のローターアクト活動の向上にもなると思います。そして未提唱のロータリークラブの皆様は、ぜひローターアクトの活動を見る機会、一緒に活動する機会を作ってください。提唱、未提唱関係なくロータリークラブとして、ローターアクト活動により一層のご指導、ご鞭撻、そしてご協力いただきます事をお願い致しますと共に、ぜひこの素晴らしい活動をクラブ一丸となって、そして全国で一番大きな地区で頑張っているローターアクトの会員増強にもご協力いただきます事をお願い致します。

ここで、少しだけ2008-2009年度のローターアクトについて紹介させていただきます。地区ローターアクト代表は田附剛平くんといって、私が所属しております京都洛北ロータリークラブが提唱しております京都洛北ローターアクトクラブの会員であります。なかなかの男前、男気を兼ね揃えた地区ローターアクト代表のテーマは『心～夢はかなえるもの』と掲げております。心意気、心配り、心掛けをキーポイントとしてローターアクト活動に取り組みたいと熱い思いを伝えていただきました。3つの『心』は人と接する中で特に大切な事です。当たり前の事ですが、難しい事でもあります。R. I. 地区ローターアクト委員会として、3つの『心』を忘れずに、ローターアクトが有意義な活動を行う1年をそばで見守ろうと思っております。

最後になりましたが、歴代のR. I. 地区ローターアクト委員長が築いてこられたロータリアンとローターアクターの関係をより深いものにできるよう、また各ロータリークラブの新世代委員長やローターアクト委員長と協力し合い、1年間R. I. 地区ローターアクト委員長を務めたいと思っております。皆様の多くのご協力を願いますと共に、今回のガバナー月信にメッセージを掲載させていただきました事を感謝致します。どうぞ1年間、よろしくお願い致します。

2008年7月会員数の増減および出席率表

京都府 （42クラブ）

クラブ名	6月30日会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
綾部	39	0	0	39	39	0	0	4	93.49	0
福知山	58	3	1	60	58	3	1	5	93.04	0
福知山西南	46	0	0	46	46	0	0	5	90.33	1
亀岡	40	1	0	41	40	1	0	5	100.00	0
亀岡中央	16	1	0	17	16	1	0	4	95.21	1
京都	194	6	1	199	194	6	1	5	98.59	0
京都伏見	91	0	1	90	91	0	1	4	86.46	3
京都平安	35	0	0	35	35	0	0	3	62.86	4
京都東	109	0	0	109	109	0	0	4	95.01	0
京都北東	32	0	0	32	32	0	0	5	88.98	0
京都城陽	30	0	0	30	30	0	0	4	96.49	0
京都桂川	36	1	0	37	36	1	0	5	94.21	0
京都北	69	0	0	69	69	0	0	5	97.18	0
京都南	223	1	0	224	223	1	0	5	93.66	0
京都ﾓｰﾆﾝｸﾞ	54	1	0	55	54	1	0	5	83.54	3
京都紫野	60	1	0	61	61	1	0	3	100.00	0
京都中	40	0	0	40	40	0	0	3	100.00	0
京都西	110	0	0	110	110	0	0	3	100.00	0
京都西山	22	0	0	22	22	0	0	4	91.99	0
京都乙訓	35	0	0	35	35	0	0	4	94.92	0
京都洛中	78	1	0	79	78	1	0	5	99.46	0
京都洛北	69	1	0	70	69	1	0	4	95.52	0
京都洛南	38	0	0	38	38	0	0	5	100.00	1
京都洛西	50	0	0	50	50	0	0	4	91.21	4
京都洛東	38	0	0	38	38	0	0	4	90.13	0
京都さくら	31	0	0	31	31	0	0	5	84.95	4
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	4	80.88	0
京都西北	50	0	0	50	50	0	0	5	93.09	0
京都西南	61	0	0	61	61	0	0	5	95.40	8
京都紫竹	47	0	0	47	47	0	0	4	80.79	2
京都朱雀	42	0	0	42	42	0	0	4	95.69	1
京都田辺	24	0	0	24	24	0	0	5	92.17	2
京都東山	81	1	0	82	81	1	0	5	99.43	0
京都山城	41	0	0	41	41	0	0	4	98.65	0
京都八幡	30	0	0	30	30	0	0	5	83.92	1
舞鶴	30	0	0	30	30	0	0	5	92.89	0
舞鶴東	48	0	0	48	48	0	0	5	88.40	0
峰山	38	0	0	38	38	0	0	5	92.39	2
宮津	46	2	0	48	48	2	0	5	93.06	0
園部	30	0	0	30	30	0	0	4	99.04	0
宇治	39	2	0	41	41	2	0	5	98.97	0
宇治鳳凰	44	0	0	44	44	0	0	5	97.21	5
小　計	2,321	22	3	2,340	2,326	22	3	平均 4.5	平均 92.84	42

奈良県 （13クラブ）

クラブ名	6月30日会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
五條	36	0	0	36	36	0	0	4	94.03	0
平城京	37	0	0	37	37	0	0	5	96.04	0
生駒	38	0	0	38	38	0	0	5	82.43	0
橿原	74	0	0	74	74	0	0	4	81.31	3
あすか	54	1	0	55	55	1	0	5	94.70	0
奈良	141	4	0	145	141	4	0	5	96.20	4
奈良東	45	0	0	45	45	0	0	5	95.73	0
奈良西	48	1	0	49	49	1	0	5	97.55	1
奈良大宮	65	0	0	65	65	0	0	5	92.94	0
王寺	26	0	0	26	26	0	0	4	92.66	2
桜井	49	1	0	50	50	1	0	5	91.66	0
大和郡山	51	0	0	51	51	0	0	3	89.50	0
大和高田	95	3	2	96	98	3	2	5	95.62	2
小　計	759	10	2	767	765	10	2	平均 4.6	平均 92.34	12

福井県 （19クラブ）

クラブ名	6月30日会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
福井	128	2	1	129	128	2	1	5	66.43	5
福井あじさい	47	0	0	47	47	0	0	3	81.75	4
福井東	36	0	0	36	36	0	0	3	75.48	3
福井北	120	1	1	120	120	1	1	5	87.84	5
福井南	64	0	0	64	64	0	0	5	93.00	0
福井西	42	1	0	43	42	1	0	4	84.21	0
福井フェニックス	49	0	0	49	49	0	0	5	82.86	10
福井水仙	23	0	0	23	23	0	0	5	78.26	1
勝山	27	0	0	27	27	0	0	5	95.38	2
丸岡	34	2	0	36	34	2	0	5	91.47	0
三国	43	3	0	46	43	3	0	4	90.69	2
大野	25	0	0	25	25	0	0	4	87.34	2
鯖江	50	0	0	50	50	0	0	4	87.94	1
鯖江北	23	1	1	23	23	1	1	5	89.57	0
武生	63	0	0	63	63	0	0	5	77.47	2
武生府中	38	0	0	38	38	0	0	4	96.71	0
敦賀	46	1	0	47	46	1	0	5	88.42	0
敦賀西	24	0	1	23	24	0	1	3	83.33	2
若狭	32	2	0	34	32	2	0	4	95.54	0
小　計	914	13	4	923	914	13	4	平均 4.4	平均 85.98	39

滋賀県 （22クラブ）

クラブ名	6月30日会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
びわ湖八幡	50	0	0	50	50	0	0	5	88.87	1
五個荘能登川	22	0	0	22	22	0	0	3	79.95	0
彦根	70	4	0	74	70	4	0	5	92.19	2
彦根南	65	1	0	66	66	1	0	5	95.62	0
湖南	36	1	0	37	37	1	0	4	94.97	1
草津	44	0	0	44	44	0	0	5	89.65	0
水口	49	0	1	48	49	0	1	4	94.33	1
守山	44	1	0	45	44	1	0	4	88.89	0
長浜	58	2	0	60	58	2	0	3	93.76	0
長浜東	65	1	0	66	65	1	0	4	97.31	0
大津	108	2	2	108	110	2	2	5	99.63	1
大津中央	35	1	0	36	35	1	0	4	88.00	2
大津東	24	0	0	24	24	0	0	4	81.88	1
大津唐橋	23	1	0	24	23	1	0	4	95.79	1
大津西	24	0	0	24	24	0	0	5	98.95	0
近江八幡	67	0	0	67	67	0	0	5	93.85	2
栗東	36	1	0	37	36	1	0	5	88.65	3
滋賀湖北	23	1	0	24	23	1	0	5	84.09	1
高島	42	1	0	43	42	1	0	4	99.32	1
野洲	37	3	0	40	37	3	0	5	84.02	1
東近江	56	2	2	56	56	2	2	4	89.87	0
八日市南	55	0	0	55	55	0	0	4	94.01	2
小　計	1,033	22	5	1,050	1,037	22	5	平均 4.4	平均 91.53	20

合計 （96クラブ）

クラブ名	6月30日会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
合　計	5,027	67	14	5,080	5,042	67	14	平均 4.4	平均 91.11	113

■表作成にあたって
・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
・入退会者数、7月会員数および入退会者累計数は、7月末日現在です。
・今年度の「期首会員数」は、平成20年7月1日現在の会員数です。

■月信第2号(8月号)の訂正

P4 誤			正	
敦賀西RC7月末会員数	27		敦賀西RC7月末会員数	26
福井県7月末会員数小計	948	→	福井県7月末会員数小計	947
7月末会員数合計	5,127		7月末会員数合計	5,126

以上訂正いたします。

地区公示

2010−11年度　ガバナー・ノミニーの決定

国際ロータリー第2650地区2010-2011年度　ガバナー・ノミニーについて、RI細則13.020.7.に基づき去る6月7日付にて地区公示を行いましたところ、公示期限の7月31日までに対抗候補者の届出がありませんでした。

つきましては、地区ガバナー指名委員会が推薦した候補者　栗田幸雄君(福井北ロータリークラブ会員)を、RI細則13.020.9.により、2010-2011年度当地区ガバナー・ノミニーに決定したことを宣言します。

国際ロータリー第2650地区　　ガバナー　川端 五兵衛

ガバナー・ノミニー経歴　国際ロータリー第2650地区

くりた　ゆきお
栗田 幸雄　(福井北ロータリークラブ会員)

生年月日　1930年(昭和5年)4月6日
現住所　〒910-0005　福井県福井市大手2-3-1-1505
最終学歴　東京大学法学部卒業
職業分類　県行政

ロータリー歴

〔クラブ関係〕

1984年　福井北ロータリークラブ入会
2004〜2005年　会員増強委員長
2005〜2006年　国際奉仕委員長
2006〜2007年　会長エレクト・副会長　クラブ管理運営委員長
2007〜2008年　会長(RI会長賞・RI会員増強推進計画賞・米山功労クラブ37回目受賞)

〔その他〕

1993年　米山記念奨学会功労者
1996年　ポール・ハリス・フェロー

職歴

昭和30年4月　自治庁 入庁
昭和49年7月　自治省税務局市町村税課長
昭和51年9月　自治省税務局固定資産税課長
昭和52年6月　福井県副知事
昭和62年4月　福井県知事
平成3年4月　米価審議会委員(平成11年6月まで)
平成6年4月　政府税制調査委員会(平成12年7月まで)
平成15年4月22日　福井県知事退任(4期16年)
平成15年5月22日　財団法人福井県国際交流協会会長
平成15年7月27日　福井県立大学名誉客員教授

賞罰

平成16年11月　旭日大綬章受章

7月の会員の動き

◆新入会員

あすか	皆巳 親重	林業
宇治	池本 なら義	理事長
宇治	中村 長隆	歯科医
大津	小阪 博司	生命保険
大津	山本　彰	フィルム加工
大津唐橋	伴　典昭	保育園
大津中央	濱出 昇一郎	日本料理
亀岡	平井 宏俊	弁護士
亀岡中央	今井 重憲	コンクリート建築
京都	大石　直	証券会社
京都	岡　博章	電気機器製造
京都	尾花 栄一郎	証券会社
京都	北出　昭	新聞発行
京都	高橋 和志	新聞発行
京都	服部 一史	広告企画取扱
京都桂川	千田　適	弁護士
京都東山	坂田　均	企業法務弁護士
京都南	鈴木 康次	織物精錬業
京都紫野	岩澤 一廣	金属工芸
京都ﾓｰﾆﾝｸﾞ	齊藤　博	貴金属販売
京都洛中	外波山 裕章	商業デザイン
京都洛北	田村　徹	情報サービス
湖南	田村 義教	ゴルフ場
桜井	石井 重朗	食品販売
鯖江北	増谷 章三	石材業
滋賀湖北	佐野 嘉郎	内科医
高島	藤田　勝	商業銀行
敦賀	来馬 克美	原子力医療研究
長浜	片山 喜一	木工
長浜	都築 正章	ホテル
長浜東	伊藤　浩	建築
奈良	山口 晴久	料理店(和食)
奈良	小林 正哉	火災保険
奈良	橋本 正昭	商業銀行
奈良	和田 陽介	建築
奈良西	浦前 敏明	青少年教育
東近江	藤木 芳和	証券業
東近江	北村 雄作	商業銀行
彦根	川並 徳三	交通運輸
彦根	大舘 康伸	古美術商
彦根	那須 賢司	不動産
彦根	宮本 哲男	電気事業
彦根南	西村 正司	料理旅館
福井	酒井 幸雄	社会福祉団体
福井	三宅 国紀	全国放送
福井北	奥村 敏之	電気通信サービス
福井西	宮越 洋二	産婦人科医
福知山	南部 知幸	病院経営
福知山	正木 髙夫	道路建設機械販売
福知山	中江 憲一	電話事業
丸岡	野尻　昇	旅行社
丸岡	大久保 政幸	電気・電子材料製造販売
三国	加賀　宏	建設業
三国	小針　悟	観光サービス
三国	小南 正一	観光物産販売
宮津	稲葉 洋一	日本料理
宮津	西村 義幸	証券業
守山	北村 浩史	不動産業
野洲	西本 計三	電気工事
野洲	松沢 松治	漁業
野洲	津田 宗昭	リサイクル業
大和高田	小田 正之	生命保険
大和高田	金内 雅夫	私立大学
大和高田	辻　脩	電気工事
栗東	工藤 勝利	眼鏡小売業
若狭	田中 信太郎	税理士
若狭	濱詰 健二	信用金庫

訂正　月信第2号(8月号)

京都西	田村 正行	鈑金塗装業
京都洛中	橋本 善博	機械部品製造
京都洛東	古原 英男	歯科医
京都西南	森本 たづ子	音響イベントプロデュース
京都田辺	岡本 祐之	内科医
園部	廣瀬 仙義	自動車整備

弔慰

謹んでお悔やみ申し上げます

宇治鳳凰RC
橋内 憲次 様
5月19日ご逝去 59才

宇治RC
下岡 修吾 様
5月20日ご逝去 45才

京都東RC
竹内光男 様
6月13日ご逝去 88才

京都南RC
内藤健雄 様
6月14日ご逝去 70才

福知山RC
糸井繁雄 様
6月22日ご逝去 79才

野洲RC
甲原 昭治 様
6月28日ご逝去 80才

9・10月のIM日程

組	地　域	開　催　日	会　場　名	ホストクラブ	会　長	ゼネラルリーダー	IM実行委員長
第1組	滋　　賀	9月6日(土)	あいこうか市民ホール	水口R.C.	寄本 恭治	千　玄室	斎藤 一美

IMテーマ　**未来へ共創～責任・役割～**

参加クラブ　びわ湖八幡、五個荘能登川、彦根、彦根南、湖南、草津、水口、守山、長浜、長浜東、大津、大津中央、大津東、大津唐橋、大津西、近江八幡、栗東、滋賀湖北、高島、野洲、東近江、八日市南　22R.C.

組	地　域	開　催　日	会　場　名	ホストクラブ	会　長	ゼネラルリーダー	IM実行委員長
第2組	京都北部	10月4日(土)	サンプラザ万助	福知山西南R.C.	高橋 明雄	山田 三郎	池澤 健雄

IMテーマ　**次の世代にときめきを**

参加クラブ　綾部、福知山、福知山西南、舞鶴、舞鶴東、峰山、宮津　7R.C.

2650地区の情報満載！ http://www.rid2650.gr.jp/

～08-09年度地区ホームページ～

国際ロータリー第2650地区のホームページをご覧になっていただけたでしょうか。08-09年度のホームページが公開されています。

地区の概要・組織、地区内クラブ、年間行事予定、例会変更情報、ダウンロードセンター等々、ロータリーの様々な情報を公開しておりますので是非ご覧下さいませ。

また07-08年度に引き続き、「月信α(アルファ)」のサイトも新しく開設いたしました。各クラブ公式訪問の報告や委員会報告、各会議報告等も随時更新し地区内の情報を皆様に公開させていただきます。また、クラブ奉仕活動等も公開させていただきますので、原稿・記事・写真の投稿をお待ちしております。

原稿・写真はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

広報・月信地区幹事　一伊達　(事務局　筑摩)まで

文　庫　通　信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。
閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より

(250号)

◎「韓国のロータリー現況」 李 東均　2008　8p
　(第９回 ROTARY 日韓親善会議報告書)
◎「韓日新世代交流プログラムの昨日、今日、そして明日」
　禹　鳳濟　2008　4p
　(第９回 ROTARY 日韓親善会議報告書)
◎「ロータリーを支えよう - 真心込めて」
　四津谷仁朔　2008　6p
　(絆 (Ⅳ))
◎「世界はあなたを待っている」 関場慶博　2007　5p
　(第１２回ロータリー青少年交換研究会長崎会議報告書)
◎「価値ある増強」井上瑛夫　2008　5p　(D.2680 月信)
◎「ロータリーの神髄」深川純一　2008　12p(D.2680 月信)
◎「職業宣言」鈴木政昭　2008　2p　(D.2800 月信)
◎「2680 地区 2007-2008 年度ロータリー財団セミナー」
　松下　衛　2007　10p　(D.2680 月信)

(251号)

◎「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル　2008　6p
　(D.2580 地区大会記録)
◎「ロータリーの向うべき道(シンポジウム)」
　小沢一彦(モデレーター)2008　23p　(D.2780 地区大会報告書)
◎「職業奉仕の重要性について(2008 年国際協議会リポート)」
　渡辺好政　2008　2p　(D.2690 月信)
◎「ロータリーの綱領」 鈴木政昭　2008　2p(D.2800 月信)
◎「決議２３-３４の徹底的解析」 田中　毅　2008　8p (D.2510 地区大会記録)
◎「決議３４号」 鈴木政昭　2008　3p(D.2800 月信)
◎「増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法それは新会員の意識を高めることから出発する」
　服部芳樹　2008　5p(D.2510 地区大会記録)
◎「今だからこそ問う　ロータリーとは何か」
　深川純一　2008　8p(D.2830 地区大会記録誌)
◎「ロータリーを生きる」 佐古亮尊　2008　13p　(D.2830 地区大会記録誌)
◎「ＣＬＰとロータリー」 神崎正陳　2007　6p　(D.2500 地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー /PDF)]

ロータリー文庫
〒105−0011 東京都港区芝公園2−6−15　黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2008−2009

国際ロータリー第2650地区
2008-2009年度　ガバナー 川端　五兵衛
■ガバナー 事務所
〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町413-5
Tel.0748-31-2650 Fax.0748-31-2651
E-mail:gov08-09.2650@joy.ocn.ne.jp